

「もっと安心ちばエコ農産物」 春夏ニンジン栽培暦

JAIちかわ船橋人参共販推進委員会 船橋地区もっと安心農産物生産グループ

1. 土作り

完熟堆肥を施用する。(2,000kg/10a) 播種直前の施用はしない。前作までに堆肥を施し土づくりする。

2. 施肥 土壌診断にもとづく施肥量の遵守

	肥料名	保証成分 (%)	施肥量
基 肥	① 船橋人参有機持号	10-12-8 (有機態N3.4)	140kg/10a以下
	② 有機化成128	10-12-8 (有機態N3.0)	140kg/10a以下
	③ 船橋みらい007	10-10-7 (有機態N3.3)	140kg/10a以下
	有機アグレット673	6-7-3 (有機態N6)	80kg/10a
	苦土重焼燐	0-35-0	40kg/10a
	苦土セルカ2号	(カキ殻100%の有機石灰)	60kg/10a

※ 有機アグレット673は①船橋人参有機持号②有機アグレット128③船橋みらい007で窒素量が不足の場合施用する。

3. 防除 使用薬剤は、化学合成農薬6成分回数までとする。(Zボルドー・BT剤は、化学合成農薬に含まない。)

(薬剤名後の()内数字は化学合成農薬成分数を示す)

月	管理作業	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)
11月中旬	播種	①フォース粒剤(1) (播種時)	12kg/10a	ネキリムシ類	発芽を良好にする為、土壌水分を十分に確保してから播種作業を行なう。 播種の時期は、6月下旬までに収穫が終了行なう。 早めに換気作業を行ない病害の発生を防ぐ。 降雨が多い場合は、病害防除の為、間引き時にZボルドー(500倍)を散布する。 ハスモンヨトウの防除には、BT剤のゼンリ顆粒水和剤1000倍(前日まで)を散布する。 根腐病対策として、⑧リソレックス粉剤(1)40kg/10aを播種前に全面土壌混和する。 ネキリムシ類の防除には、⑨ガードベイトA(1)3kg/10aを、生育初期(但し収穫7日前5回以内)に処理を行う。 しみ腐病対策として、⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。
下旬		②トレファノサイド粒剤25又は、トレファノサイド乳剤(1)(播種直後)	6kg/10a 300ml/10a	畑地一年生雑草	
12月上旬	換気初め 間引き	③アルバリン顆粒水溶剤(1)	400倍 / 0.4L / m ² 株元灌注 (収穫21日前迄1回)	ヒトコウカゾウムシ	
中旬		④アグロスリン乳剤(1)	2,000倍 (7日前2回以内)	ヨウムシ	
下旬					
1月上旬		⑥フェニックス顆粒水和剤(1)	2000倍 (収穫前日2回以内)	ヨウムシ	
中旬					
2月上旬		⑧リソレックス粉剤(1)40kg/10aを播種前に全面土壌混和する。	⑨ガードベイトA(1)3kg/10aを、生育初期(但し収穫7日前5回以内)に処理を行う。	⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。	
中旬					
下旬		⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。			
3月上旬			⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。		
中旬		⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。			
下旬	⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。				
4月上旬		⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。			
中旬	⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。				
下旬		⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。			
5月上旬	⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。				
中旬		⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。			
下旬	⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。				
6月上旬		⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。			
下旬	⑩ユニフォーム粒剤(2)9~18kg/10a(播種前1回)全面土壌混和するしみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。				

播種前の土壌消毒に
 ・D-D(1)(20kg/10a播種10~15日前)
 ・ディ・トラベックス油剤(2)(40kg/10a播種21日前まで)
 ・キルバー(1)(60kg/10a播種又は定植の15日前まで)
 ・バスアミド微粒剤(1)(30kg/10a播種21日前まで)
 土壌消毒する場合は、上記の薬剤のいずれかで、11月上旬までを目安に行う。(地温10℃確保する。)処理後に必ず被覆し、ガス抜きは2回以上行う。
 又は、播種前にネマトリンエース粒剤(1)20kg/10aを全面土壌混和する。